



稲高だより

インターハイ特別号

静岡県立稲取高等学校
令和4年6月9日
第3号(通算145号)
まこと いつくしみ つとめる
「誠 愛 力」

男子バレーボール部

稲高でバレーができたことに感謝

インターハイ東部大会

会場：沼津城北高校 5月7日

1回戦 稲取2-0富士

2回戦 稲取0-2沼津城北(2回戦敗退)

順位決定戦 稲取0-2吉原工業



31HR 石崎 真洋(下田中学校出身)

2回戦で沼津城北高校に負けた時は、とても悔しい思いをしました。沼津城北高校とは何度か練習試合を行っていましたが勝ち続けていた相手だったので、心の中で「余裕で勝てる」と思い込んでいました。実際に試合をしてみると、完全に流れをつかまれてしまい、自分たちのやりたいバレーが全くできませんでした。順位決定戦でも点差もありいけると思っていましたが、チームにアクシデントもあり、何もできずに負けてしまいました。

ずっと県ベスト4を目指して練習してきましたが、県大会へ進出することができなかったことを、稲取高校男子バレー

ボール関係者に申し訳なく思っています。新型コロナウイルスの感染拡大により十分な練習ができなかったりと不運もありましたが、稲取高校でバレーができた時間はとても楽しかったです。バレーの技術も人間的にも色々なことを学べました。稲取高校バレー部で学んだことを、これからの将来に生かしていきたいです。

女子バレーボール部

12月の伊東大会では初優勝
インハイでも力出し切る

インターハイ東部大会

会場：三島南、沼津西高校 5月8日-9日

1回戦 稲取2-0伊豆中央

2回戦 稲取0-2富士宮西

順位決定戦

第1試合 稲取0-2沼津商業



31HR 木下 花音(南伊豆東中学校出身)

私たち女子バレー部は、県大会出場を目標に楽しく勝つバレーをしてきました。他の学校では、なかなか1年生から試合に出ることは難しいです。しかし、私たち3年生5人は全員1年生の時からずっと試合に出させてもらいました。そのおかげで今年はとても強いチームになることができました。練習試合では連戦連勝、12月の大会では稲取高校として初めて優勝をすることができました。優勝してチームのみんなと抱き合っただけの瞬間は一生忘れません。

稲高女子バレー部史上最高順位での県大会出場をねらったインターハイ東部予選では、レギュラーのけがや直前の練習

ができなかったこともあり悔しい結果となってしまいました。今までの人生、これからの人生を考えても1番泣いたと思います。とてもとても悔しいです。私たちの夢は後輩たちに託します。

3年間、女子バレー部での1つ1つの思い出が私の宝物です。3年間逃げずに頑張ってきた。親、チームメイト、先生、みんなありがとう。大好き!

卓球部 力を合わせ大健闘

インターハイ東部大会

会場：沼津市民体育館等 5月4日

団体1回戦 稲取0-3伊豆中央

個人ダブルス 榎本・三澤 出場

個人シングルス 三澤 出場、榎本3回戦進出



33HR 鈴木 莉花(河津中学校)

3年間を振り返ってみると、苦しく辛いことが多かったと思いましたが、どんな時でも、みんなで励ましあって頑張ってきたことができてきました。最後のインターハイ予選の試合は、とても緊張し足が震えていました。緊張を和らげるために、3年間頑張ってきたことを思い出しました。ベンチから仲間からの応援が聞こえてきたこともあり、すぐに平常心になることができました。

最後の試合は悔いなく精一杯プレーできました。先生方を決勝リーグへ連れていけなかったことが、唯一の心残りです。それを除けば、自分達らしい試合をして引退することができました。

33HR 榎本 權(河津中学校出身)

部長として最後のインターハイを迎えました。私は、この日まで沢山卓球の練習してきました。

コロナによる休校があり、稲取高校での練習は2年前の6月に始まり、それからコツコツと練習を重ねることで、次々に新しい技術を身につけることができました。練習の成果が試合で現れたときには、とても嬉しかったです。

最後の大会では、激しいラリーの末失点してしまう場面がありました。負けてしまったことは残念ですが、ラリーができるようになったことは大きな成長であると思います。ここまで成長できたのも、顧問の秋山先生、仲間がいたからです。

女子バスケットボール部

自分達らしい試合で精一杯プレー

インターハイ東部大会

会場：富士宮西高校

4月23-24日

予選Fリーグ

稲取39-54富士宮西

稲取121-30知徳

稲取49-71富士宮東



レスリング部

高校からレスリングを始めた部員も
目覚ましい成長

インターハイ静岡県大会

会場：伊豆総合高校、焼津水産高校

80kg級グレコの部 大生咲耶 2位(東海出場)

125kg級フリーの部 稲葉雅斗 3位

32HR 大生 咲耶(河津中学校出身)

僕たちは、日々「自分に勝つ」を目標にがんばってきました。「相手に負けるかもしれない。」と考えてしまう弱い自分に勝ち、己の闘争心を燃やしまくって試合に挑んでいます。技術面では、一つひとつの技のレベルアップとスピードアップをテーマに練習を積み重ねてきました。

県大会当日は、私はフォール負けとなってしまいました。私の方が得点でリードしていただけに、逆転負けがとても悔しかったです。

コロナ渦で、できることに限りはありましたが、その中で自分の最大限の力を出し切れたと思います。東海大会もありますので、悔いの残らないようにしたいです。



陸上部

日々の練習の成果発揮で
自己ベスト連発

インターハイ東部大会

会場：愛鷹陸上競技場	4月29日-5月1日
男子100m	三浦 大和 11位 11.01
男子400mH	田村健太郎 5位 58.68
男子3000mSC	平山 翔 11位 10.22.24
男子5000mW	小澤 旭永 4位 25'18"35
男子砲丸投	鳥澤 快斗 1位 12m29
男子円盤投	鳥澤 快斗 3位 35m54
男子ハンマー投	高野 蓮 8位 31m52
女子5000mW	土屋聖吏葉 1位 27'45"73

以上静岡県陸上競技選手権大会出場

インターハイ静岡県大会

会場：エコパ運動公園	5月20日-5月22日
男子100m(予)	三浦 大和 11.30
男子400mH(予)	田村健太郎 57.81
男子3000mSC	平山 翔 10.04.38
男子5000mW	小澤 旭永 出場
男子砲丸投	鳥澤 快斗 4位 12m75 (東海大会出場)
男子円盤投	鳥澤 快斗 30m30
男子ハンマー投	高野 蓮 27m34
女子やり投	土屋 楓蘭 33m56
女子5000mW	土屋聖吏葉 7位 28'33"07

新体操部

団体・個人で
東海大会出場権を獲得

32HR 高島 唯斗 (下田中学校出身)

今回のインターハイ静岡県大会では、団体戦では2位で東海大会に出場することが決まりました。新人戦や他の大会でも、ライバルの島田工業高校に勝つことができず悔しい思いをしました。

稲取高校新体操部は選手3年生4人、1年生4人、マネージャー3年生3人、2年生1人、1年生3人の計15人で活動しています。日ごろの団体練習では、コーチに教えてもらったところだけでなく、自分たちで気付いたことをお互いに指摘しあい、少しずつ成長してきました。団体戦は6人で行う競技ですが、5人で出場しているため、点数が引かれてしまいます。悔しい思いも沢山してきました。しかし諦めずに、少しでも高い点数を出せるように努力してきました。

今後後輩たちには、まず人数を増やすこと以外にも、1人1人のスキルを高めることを頑張ってもらいたいです。ありがとうございました。



33HR 田村 健太郎 (稲取中学校出身)

インターハイ東部予選は、三年生全員が県大会出場権を獲得することを目標の一つとして練習してきました。その目標を達成することができて、とてもよかったです。

私自身は、400mハードルに出場し、県大会へ出場することができました。大会前には、フライングをしないか、ハードル間の歩数は練習のときのようにうまくいくかどうかなど、いろいろと考えて緊張しました。走る直前は、選手の皆が無口になるので余計に緊張しました。競技中には、仲間の応援がものすごく聞こえたことが印象に残っています。緊張で100点の走りができたとは言えませんが、県大会という大舞台に出場できたことは、ほんとうによい経験となりました。

最後に、3年間運動部としてやりきることができたのも、顧問の下山先生・石塚先生・鳥澤先生、陸上部の仲間、家族の応援があったからです。感謝しています。

インターハイ静岡県大会

会場：草薙体育館	5月15日
団体	2位 (東海大会出場) (高島唯斗・山本悠斗・名城詩音・横山祐莞・横山昂成)
個人	5位 名城詩音



東海大会へ向けて

稲取高校は、陸上部・レスリング部・新体操部の3部活が インターハイ東海大会へ出場します

●陸上部 砲丸投

33HR 鳥澤 快斗 (稲取中学校出身)

よい記録を出せるだろうか、東海大会へ進むことができるだろうか、多くのプレッシャーの中、県大会当日を迎えました。一投目は緊張で体が固まってしまい飛距離を伸ばすことができませんでした。下山先生が緊張している私を見て「落ち着いていつも通りやれば大丈夫！」と声をかけてくれました。下山先生のアドバイスで緊張が解けて、競技を楽しむことができました。

5投目には自己ベストが出て東海大会への出場権を獲得しました。

東海大会へ出場を決められたのは、たくさん愛のこもった指導をしてくださった顧問の下山先生・鳥澤先生、いつも一緒に練習してくれた陸上部の仲間、部の運営だけでなく沢山応援してくれたマネージャー、応援メッセージをくれた友達、そして生活面・精神面両面で支えてくれた家族のおかげです。

東海大会の目標は、自己ベストを出すことです。自己ベストを出して少しでも上位に入賞できるように、準備をすすめていきたいです。

●レスリング部 80kg級グレコの部

32HR 大生 咲耶 (河津中学校出身)

目標の一つであった東海大会へ出場することができました。インターハイ予選前には、怪我に苦しみました。怪我を治すことと並行した練習なので、練習メニューが限られていました。しかし、漫然とした練習とならるように、日々反省点をみつけ、それを改善することを練習テーマとしました。その積み重ねの成果が、東海大会への出場につながったのだと思います。

東海大会では、まずは1勝を目標にしています。

今まで練習してきたことを生かして、頑張りたいです。

他業務で多忙である中、いつも指導していただいた顧問の田力先生や外部コーチに感謝しています。顧問・外部コーチの応援があったからこそ、質の高い練習ができ、技のレベルを上げることができました。東海大会では、この感謝も忘れずに戦いたいです。

●新体操部 個人競技、団体競技

31HR 名城 詩音 (河津中学校出身)

私は、個人と団体で東海大会へ出場することになりました。団体は、メンバーの動きを合わせることを主課題として練習を重ねてきました。東海大会では、たくさん時間をかけて練習してきた「合わせる」ことを強く意識して自分たちらしい演技を行いたいです。

私の欠点は、焦ってしまい落ち着きのない演技になってしまうことです。東海大会での目標は、落ち着いて伸び伸びと演技することです。

多くの方々の応援を受け東海大会へ出場することができました。皆さんへの感謝を忘れずに全力で大会に挑みたいです。

